

## 第1章 研究の枠組み

### 第2章 アンケート調査より見た労働者の教育・訓練観

#### 第1節 選択肢方式に見る労働者の教育・訓練観

#### 第2節 記述方式に見る労働者の教育・訓練観

#### 第3節 自由記述に見る労働者の学校教育への失望と期待

### 第3章 アンケート調査実施県・校へのインタビュー

### 第4章 米国における教育訓練教科の仕事と生活への適用性に関する意識

#### 1. 序 論

#### 2. 調査の枠組み

#### 3. 方法論および調査集団抽出法

#### 4. 結 果

#### 5. 結 論—教育との関係—

### 第5章 研究の成果と課題

### 資 料

上の目次で、第3章は能開総合大以外の日本の共同研究者によって、8都府県庁と傘下の職業能力開発施設9箇所に出向いて行われたインタビューの報告である。また、第4章はMichel B. Eversの執筆による。本稿では第3章を除いた要旨を紹介する。

#### Q. 1 学校教育と仕事・生活との関係

日本側の回答を図示したものが折れ線グラフの図1、図2が米国側のグラフである。

これらの図から単純に日米労働者の意識を比較できないが、相対的に次の2点を指摘できる。第1点は、アメリカの労働者が日本の労働者の意識よりも学校教育の教科に関しては高い評価が出ていることである。第2に、アメリカの労働者は「職業」と「生活」に関する「教科の重要

性」に大きな差異がないと言えるが、日本の労働者の意識は職業と生活で教科目毎に大きな差異を示していることである。

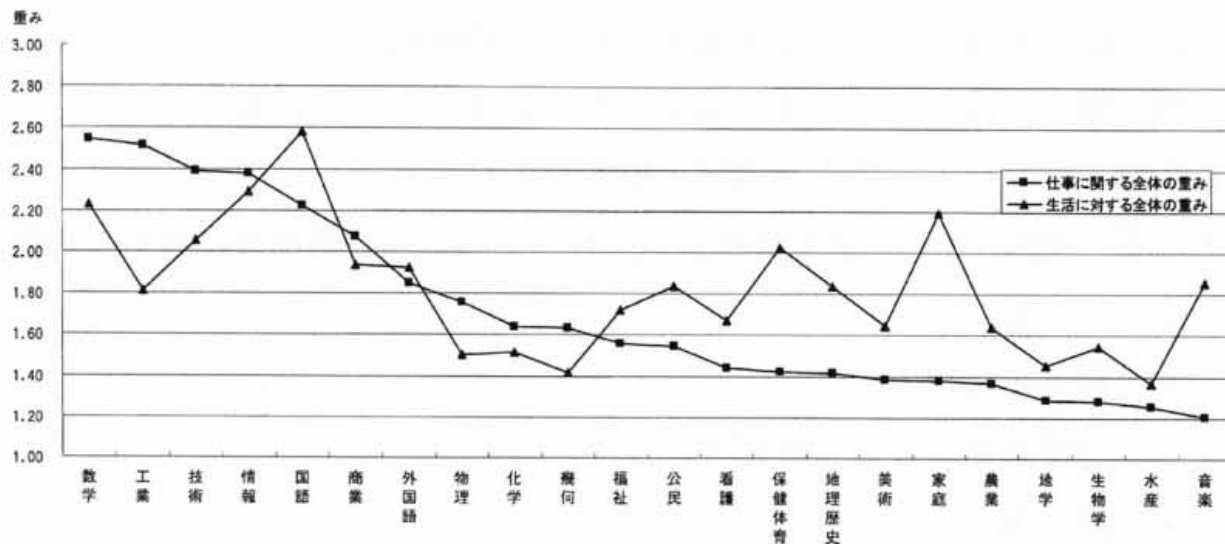


図1 各教科の仕事に対する重要さと生活に対する重要さの比較

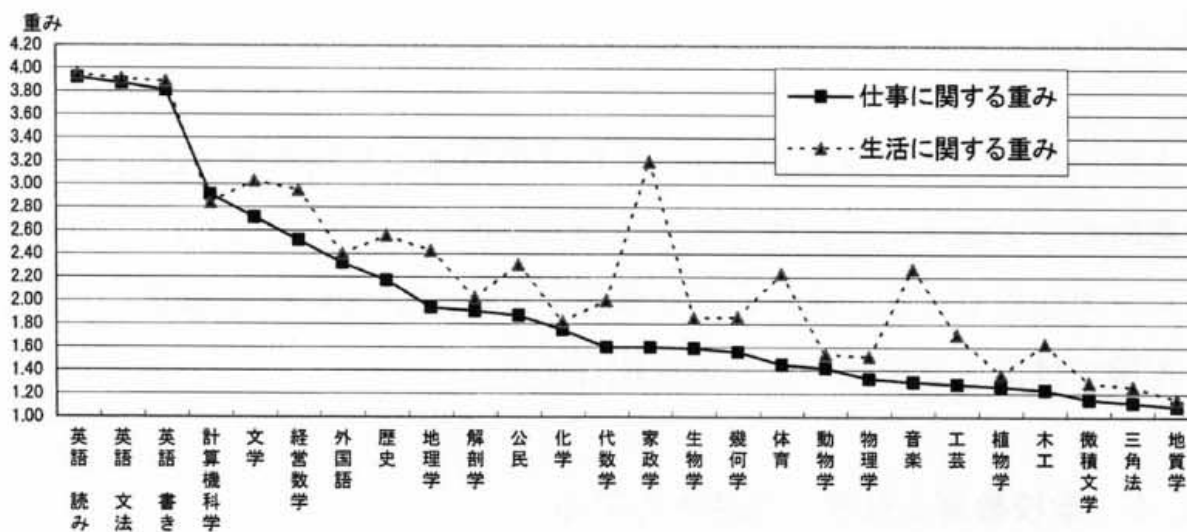


図2 学校での活動の仕事、生活に対する重要さ

次に、学校で行ったクラブ活動、生徒会活動、クラス活動（委員等）そしてボランティア等の様々な経験が、現在の仕事と生活に役立っている重みを聞いたのが次の図3である。

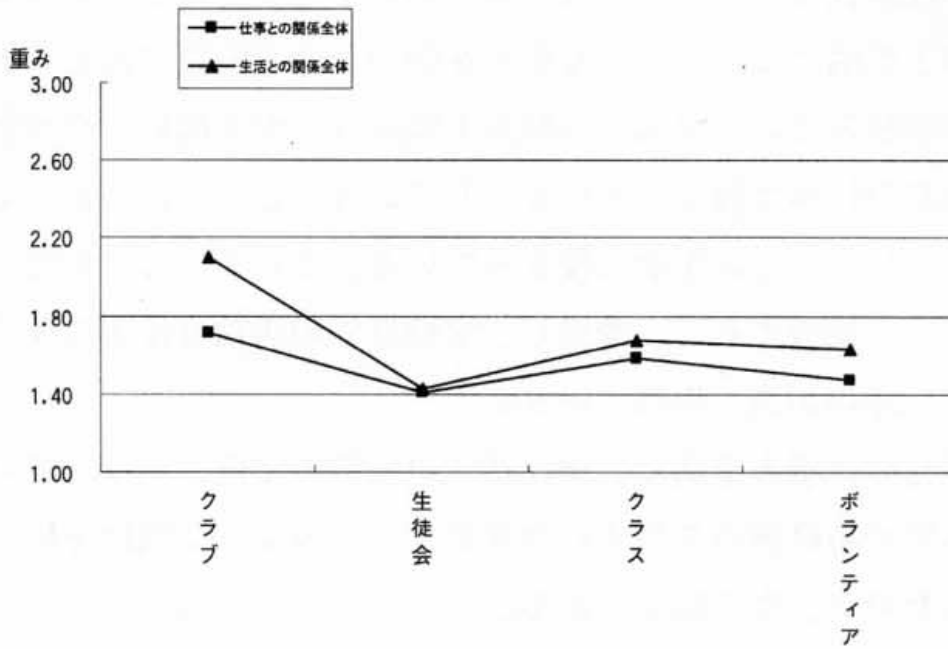


図3 学校での活動の仕事、生活に対する重要さ

いずれの活動も仕事よりも生活に役立っているとしている。その中でもクラブ活動は特に高い評価を得ている。

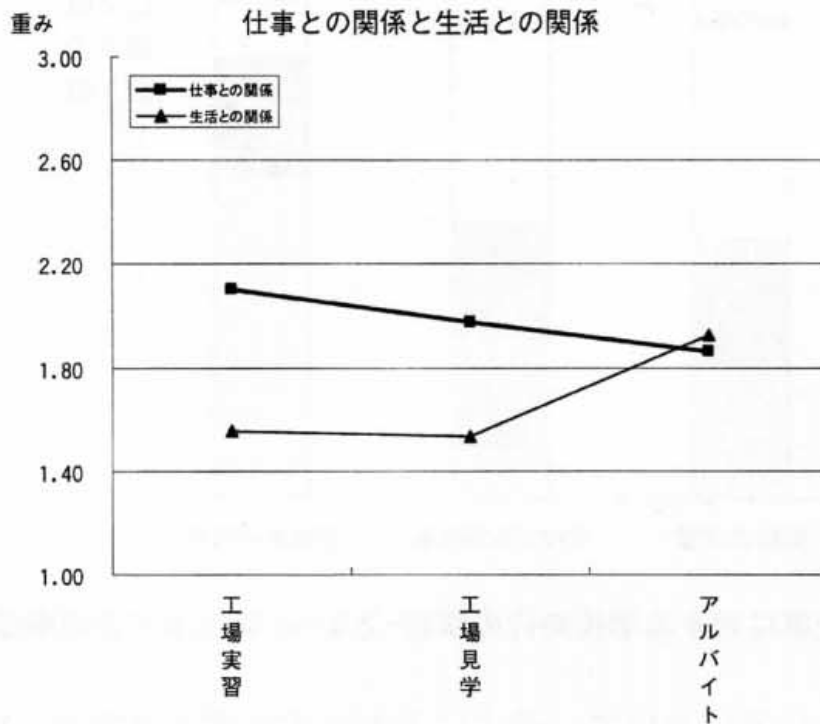


図4 学校での経験の仕事、生活に対する重要さの比較

次に、学校時代に行った、学校の外での見学、実習及びアルバイトが、現在の仕事と生活に役立っている重みを聞いたのが前頁の図4である。

これらの学校外での活動は、当然かも知れないが工場見学や実習は生活よりも現在の仕事に役立っているとしている。しかし、わずかであるがアルバイトについては生活に役立っている、としているのが高くなっている。図3と比較すると、やはり、学校外での活動は仕事に役立っているとしているのが高く現れている。

また、現在の仕事と生活に、学校時代の教科の学習、学校内での諸活動、学校外での諸経験のそれぞれの活動が、どのような順位を持っているかを現したのが、次の図5である。

1位には圧倒的に学校外での経験を上げている。第2位までを含めると80%を越えている。教科の学習を上げた2位までを含めても50%強である。学校外活動の重要性が意識されていると言えよう。

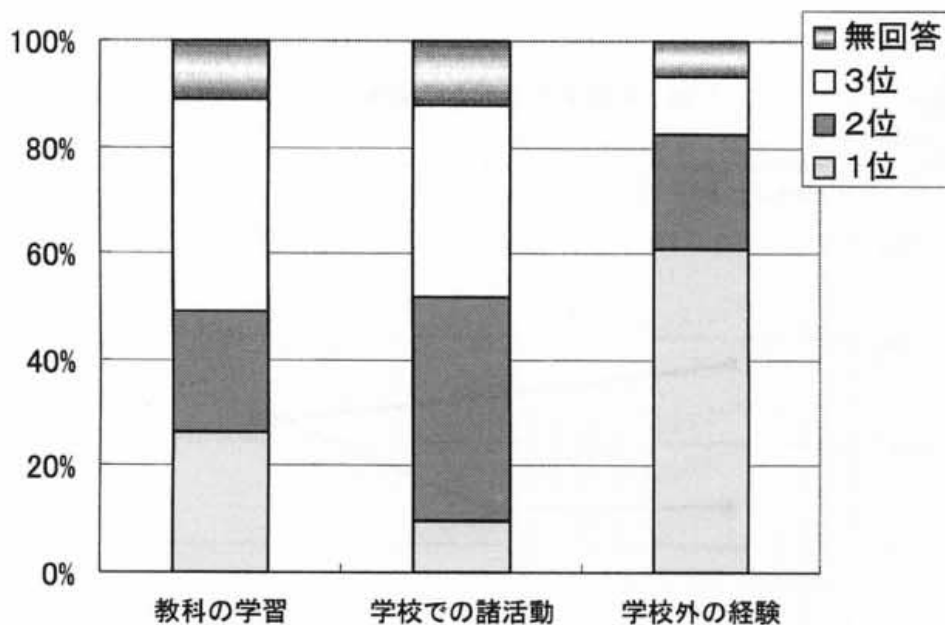


図5 仕事に対する学校時代の学習・活動・経験の重要さの順位

次に、現在の仕事において、過去に学校時代に学んだ内容、あるいは職場に入ってからOJT等の企業内教育訓練等で、どの学習が役立つ

ているのかを、順位で現したのが図6である。

図のように、第1位に上げた学習で高い順に見るとOJT等の企業内教育訓練、職業訓練校、義務教育、高校の学習であり、大学は最も低くなっている。2位までを含めても大学は最下位である。

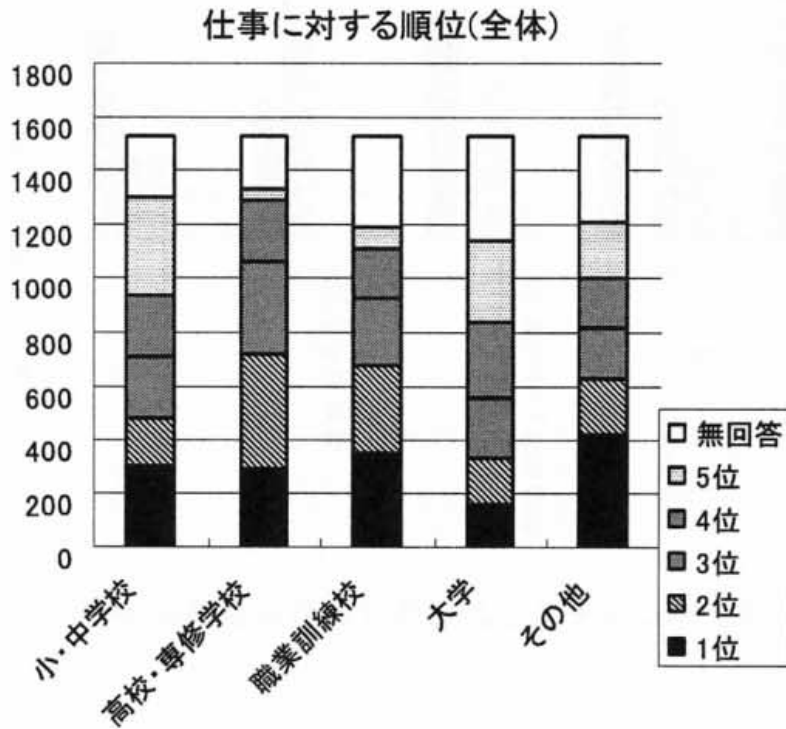


図6 教育訓練の仕事に対する重要さの順位

図示の仕方が異なるが、同様にアメリカの労働者の意識を見たのが次の図7である。これはそれぞれの学校修了者が学校の学習をどのように順位づけているかである。「計」を見ると圧倒的にOJT等を上げている。OJTよりも自分の最終学歴の学習を高く評価しているのは大学修了者のみである。

日本の図6とアメリカの図7を比較すると、共通点としていずれもOJT等の企業内教育訓練を第1位に上げていることである。また、異なる点としては大学修了者の大学教育への評価である。

問3の「学校で学んでおけば良かった「教科目」」は次の図8のように、中学校卒業者が特徴ある回答をしている。特に「様々な教科目の学

習」が極めて高くなっている。そしてパソコン関係では逆に低くなっている。非専門的内容については高校卒業者とともになくなっている。

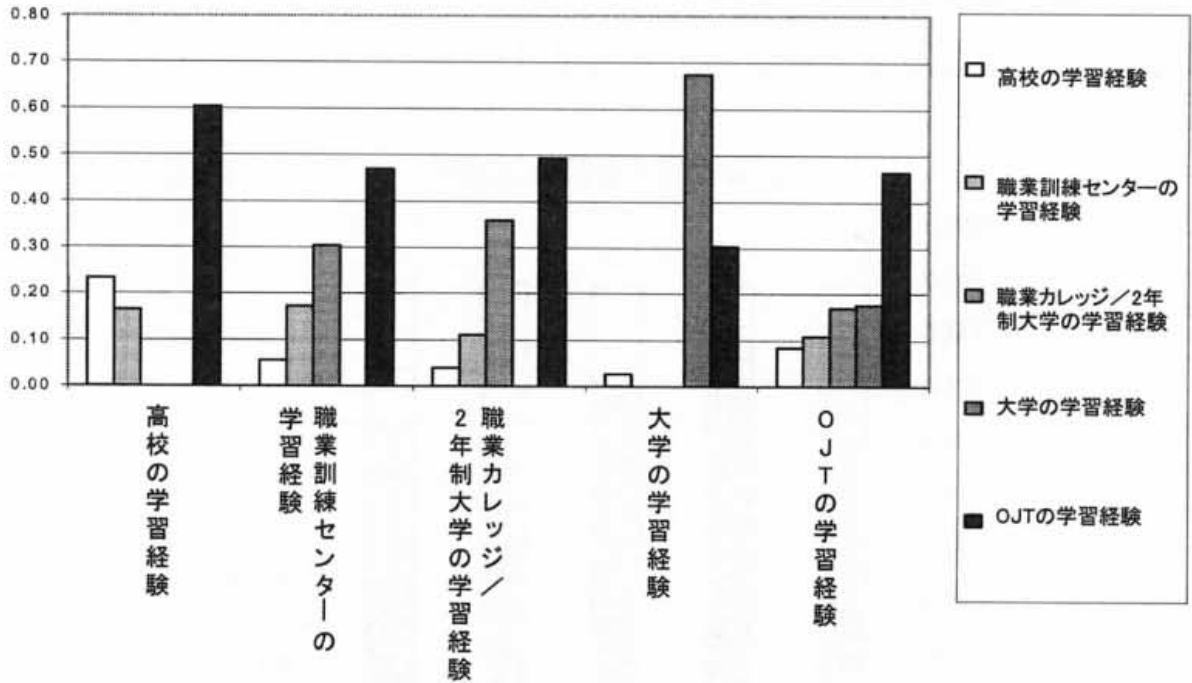


図7 現在の仕事に欠くことができない最も価値ある学校の学習経験

問3 学歴別「学校時代に学習すべきだった」内容率

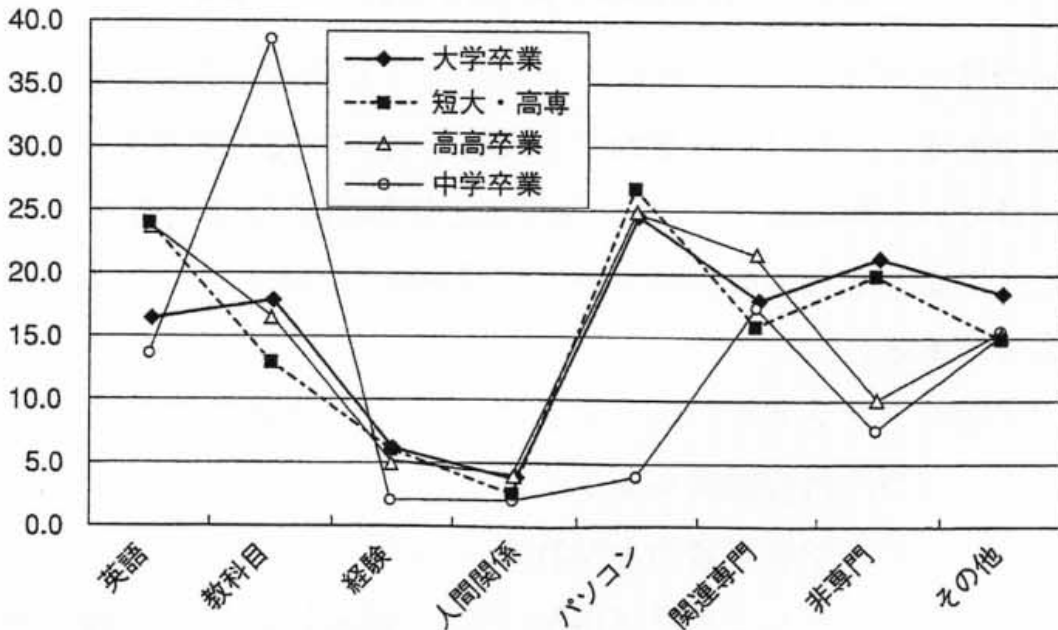


図8 学歴別に見た「学校で学習すべきだった内容」